盛岡市
morioka city

ない すい

内水ハザードマップ

このマップは、大雨時に下水道管や水路からの浸水（内水浸水）が想定される区域の浸水する深さや、防災に関する情報などをまとめたマップです。
平常時からの防災意識の向上や浸水発生時の円滑な行動に活用していただくため、内水ハザードマップを作成しました。

●わが家の避難場所

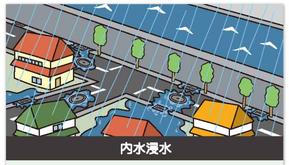
避難場所	家族の集合場所

●家族の連絡先

名前	生年月日	血液型	電話番号	メモ（職場や近隣の連絡先など）

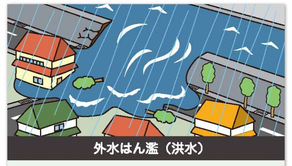
内水浸水と外水はん濫（洪水）のちがい

大雨が降ると、既存の下水道の能力では排水できなくなり、土地や道路が冠水することを内水浸水といいます。内水浸水は規模が小さく、浸水範囲が点在することが特徴です。これに対して、外水はん濫（洪水）は河川の堤防から水があふれるなどして、広範囲にわたって浸水することが特徴です。



内水浸水

水路や下水道の排水能力を超える大雨が降り、河川への排水ができなくなると、雨水があふれ、住宅地や道路などが冠水します。



外水はん濫（洪水）

長時間の雨が激しく降り、河川増水により堤防が壊れ、堤防から水があふれ出して、広範囲にわたり浸水します。

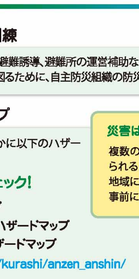
雨の強さと降り方の目安

予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
雨量（1時間雨量）	10～20㎜	20～30㎜	30～50㎜	50～80㎜	80㎜以上
雨の降り方	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元が濡れる	傘をさしていても濡れる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内（木造住宅を想定）	雨の音で話し声がよく聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気づく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようになる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っていて	――	ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	

過去の総雨量

●日最大1時間降雨量（上位10降水）

和暦	西暦	日最大1時間降雨量（mm/時間）
昭和13年8月15日	1938年8月15日	62.7
平成28年8月2日	2016年8月2日	62.5
平成7年8月26日	1995年8月26日	50.5
昭和45年8月1日	1970年8月1日	48.5
昭和28年8月13日	1953年8月13日	48.1
昭和37年8月26日	1962年8月26日	47.0
昭和57年8月30日	1982年8月30日	45.5
昭和6年8月10日	1931年8月10日	40.6
昭和52年8月17日	1977年8月17日	38.5
平成17年8月15日	2005年8月15日	38.0



盛岡市の雨の降り方
左表からわかるように、盛岡市では日最大１時間降雨量は、８月に記録される傾向があります。

出典：気象庁HPの公開データのうち、観測網整備前における上位10降雨の1時間降雨量より作成

自主防災のすすめ

●自主防災組織における防災訓練

地域住民が協力（共助）して、救助活動や避難誘導、避難所の運営補助などの防災活動を行う組織が「自主防災組織」です。地域の皆様におきましては、防災力の向上を図るために、自主防災組織の防災研修や防災訓練へのご参加をお願いいたします。

●盛岡市のほかのハザードマップ

盛岡市では、内水ハザードマップのほかに以下のハザードマップを作成しています。

盛岡市防災ページをチェック!

▶ 盛岡市防災マップ
▶ 盛岡市土砂災害ハザードマップ
▶ 盛岡市ため池ハザードマップ

https://www.city.morioka.iwate.jp/kurashi/anzen_anshin/bousai/hazardmap/index.html

災害は必ずしも単独で発生するとは限らないよ!
複数の災害が**同時期・復旧中に発生**することも考えられるから、内水浸水以外にも、自分の住んでいる地域にどのような被害が発生するおそれがあるのか、事前に確認しておこう!

●盛岡市防災マップ

盛岡市は、これまでの防災マップや各ハザードマップを統合し、主要河川の洪水浸水想定区域などの情報を反映した新たな「盛岡市防災マップ」を平成30年に作成しました。
災害が発生したときに、自分自身と家族の身を守れるよう、普段から災害に対する準備を行うとともに、災害に関する知識を正しく理解し、適切かつ安全に避難行動をとるための手引きとなるものです。
自宅・学校・職場などの周辺にどのような災害の危険性があるのか、また、最寄りの避難場所や避難経路の確認など、ご家庭や地域内での防災の取り組みにご活用ください。

▶ 盛岡市HP　盛岡市防災マップ
https://www.city.morioka.iwate.jp/kurashi/anzen_anshin/bousai/hazardmap/1024098.html

防災マップ（盛岡版）

防災・避難情報の流れ

●防災・避難情報の伝達方法

高齢者等避難などの避難情報は下図のように市民のみなさんに伝達されます。伝達方法を確認しておきましょう。

災害時の情報入手方法

テレビで調べる

▶ **テレビのデータ放送**
気象、災害関連情報、盛岡市の避難情報などを確かめることができます。リモコンのdボタンを押すとデータ放送画面に切り替わり、情報を確認できます。

ラジオで調べる

▶ **ラジオもりおかの自動割込み放送**
緊急時には、通常の放送に割込みを行い、避難情報などを提供しています。また、防災ラジオは、割込み放送を受信できます。

メールで確認

▶ **いわてモバイルメール**（要登録・登録無料）
http://www.highway.pref.iwate.jp/mobile/
市では、県が運用している「いわてモバイルメール」を活用し、避難情報を携帯電話やスマートフォン、パソコンへメール配信を行っています。

インターネットで調べる

▶ **いわて防災情報ポータル**
https://iwate.secure.force.com/
県で発表している緊急情報や災害対応状況、県内の気象情報や避難情報など、県内の情報を確認することができます。

▶ **逃げなきゃコール**
https://www.mlit.go.jp/river/risp/policy/33nigecall.html
離れた場所に暮らす高齢者等の家族に危険が差し迫った時、家族が直接電話をかけて避難行動を呼びかけることができるサービスです。

▶ **気象庁**
https://www.jma.go.jp/jma/

▶ **盛岡地方気象台**
https://www.jma-net.go.jp/morioka

NTT災害用伝言ダイヤル利用方法

電話での登録・確認は

● NTT災害用伝言ダイヤル(171)利用方法
171にダイヤル
171をダイヤルすると、音声による利用ガイダンスが流れます
録音は1をダイヤル
再生は2をダイヤル
(019)-○○-××××
（固定電話の場合、市外局番からダイヤル）
被災地の方は
被災地以外の方は
被災地にいらっしゃる方の電話番号
被災地以外の方は
伝言の録音ができます。
伝言の再生ができます。
録音のポイント
・氏名
・職種状態
・家族の安否
・避難場所

インターネットでの登録・確認は

● 災害用伝言板(WEB171)利用方法
WEB171 https://www.web171.jp

「NTT災害用伝言ダイヤル171」が体験できます
いざというときのために実践型ダイヤルの使い方を体験して、事前に利用方法を覚えておきましょう
実践型ダイヤル171 https://www.ntt-west.co.jp/dengon/taiken/

非常用持出品を用意しましょう!

家族構成にあわせ、必要最小限の非常用持出品をいつでも持ち出せるよう、リュックなどに入れて準備しておきましょう。
また、被災後の生活を支えるため、1人あたり7日分（最低でも3日分）の水、食料生活用品などの備蓄品を準備しておきましょう。

非常用持出品

	避難時に持ち出すもの
生活用品	□携帯ラジオ　□懐中電灯　□予備の乾電池 □水筒　□紙コップ　□紙皿 □割りばし　□缶切り　□万能ナイフ □ペットボトル
救急医療品	□ばんそうこう　□包帯　□消毒液 □傷薬　□かぜ薬　□湿布薬 □胃腸薬　□持病の薬
非常食	□飲料水　□缶詰　□アルファ米 □乾パン　□レトルト食品
貴重品	□現金（小銭も）　□預貯金通帳　□印鑑 □家・車のキー　□各種カード　□携帯電話 □免許証・保険証のコピー
その他（必要に応じて準備）	□着替え　□タオル　□予備のメガネ □ラップ　□ウェットティッシュ □ビニール袋　□雨具　□お薬手帳 □母子手帳　□粉ミルク　□ほ乳びん □紙オムツ　□生理用品　□ライター □軍手　□マスク　□カイロ □筆記用具　□連絡先記載のアドレス帳 □笛　□携帯電話の予備バッテリー □ヘルメット・防災ずきん

備蓄品

	復旧までの数日間分準備するもの（最低3日、できれば7日）
生活用品	□新聞紙　□洗面用具 □バケツ　□紙食器 □カセットコンロ（燃料） □ライター　□フード付雨カッパ □裁縫道具　□石けん □生理用品　□万能ナイフ □布ガムテープ □タオル　□軍手　□ろうそく □レジャーシート　□ひも □くつ・スリッパ　□ティッシュ □ラップ・アルミホイル　□簡易トイレ
非常食	□飲料水（1人1日3リットル） □アルファ米　□乾パン　□缶詰 □調味料　□レトルト食品 □チョコレートなどの菓子類
衣類	□着替え用衣類・靴下　□帽子 □着替え用肌着　□毛布 □マスク

事前に危険な場所などを確認しましょう!

●自宅周辺の危険箇所
●避難先や避難経路

この内水ハザードマップや既に配布しているハザードマップを確認し、複数の避難経路を家族で相談しましょう。

避難時は服装にも配慮しましょう!

●安全で動きやすい服装

食料や飲料水などを備蓄しておきましょう!

●最低でも世帯人数の３日分以上を備蓄

「非常用持出品」一覧表を参考に必要なものを用意してリュックに入れ、すぐに持ち出せる場所においておきましょう。

●ローリング ストック（家庭内流通備蓄）しましょう

カップ麺やレトルト食品など日持ちする食品を少し多めに蓄え、消費した分を買い足しながら、効率よく備蓄しましょう。

マイ・タイムラインを作成してみましょう!

マイ・タイムラインとは、水害に備え、一人ひとりが、どのタイミングで、どのような避難行動をとるかを時系列に整理した避難行動計画のことです。各家庭の状況に応じ、避難のタイミングをあらかじめ定めておくことで、災害時の適切な行動につながります。
災害時の連絡手段や近隣の避難先・避難経路について家族で話し合い、避難行動判定フローや警戒レベルを参考にしながら事前に作成しておきましょう。

マイ・タイムライン作成手順 1
裏面のハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう!

盛岡市防災マップも確認し、内水はん濫以外の災害リスクも確認しましょう!
※❸ページ「盛岡市防災マップ」

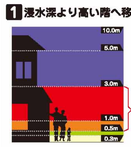
避難行動判定フロー

自宅がある場所に色が塗られていますか?
- いいえ → 色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地などにお住まいの方は、市からの避難情報等を参考に必要に応じて避難してください。 → **A 屋内安全確保**
- はい → 災害の危険があるので、原則として自宅外への避難が必要

例外

次の1～2が確認できれば、在宅避難（屋内安全確保）が可能 ➡ A

1 浸水深より高い階へ移動できる



2 水が引くまで我慢できる、水・食料などの備えが十分（3日間程度）
備えが十分じゃないと、水、食料、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか?
- はい → 安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?
  - はい → 警戒レベル3までに → **B 安全な親戚・知人宅へ避難**
  - いいえ → 警戒レベル3までに → **C 開設している市の指定避難所などへ避難**
- いいえ → 安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?
  - はい → 警戒レベル4までに → **B 安全な親戚・知人宅へ避難**
  - いいえ → 警戒レベル4までに → **C 開設している市の指定避難所などへ避難**

A 屋内安全確保
浸水が発生するおそれが低い区域にいる場合や、浸水の危険があっても上のフロー1～2において、危険を回避できる場合であれば、自宅に留まり安全を確保することも可能です。
みなさんの行動
・丈夫で安全な建物の上階等へ移動
・近隣の身の安全を確保可能なマンションやビル等の上階へ移動

B 安全な親戚・知人宅へ避難
普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。
また、事前にハザードマップで親戚・知人宅とその避難経路が安全かどうか確認しておきましょう。
みなさんの行動
・避難先への持参品を確認
・避難経路や避難先が安全かを確認
・遠方の場合は早めに避難を開始

C 避難施設へ避難
事前にハザードマップで避難施設までの経路を決めておき、安全かどうか確認しておきましょう。
また、感染症対策ができるものを携行しましょう。
みなさんの行動
・避難先への持参品を確認
・感染症対策は各自で（マスク・消毒薬・体温計・スリッパ等持参）
・避難経路や避難先が安全かを確認

その他 安全なホテル・旅館への立ち退き避難
通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。
また、事前にハザードマップでホテル・旅館とその避難経路が安全かどうか確認しておきましょう。感染症対策ができるものも携行しましょう。
みなさんの行動
・事前に予約、営業確認
・避難先への持参品を確認
・感染症対策は各自で（マスク・消毒薬・体温計・スリッパ等持参）
・避難経路や避難先が安全かを確認
・遠方の場合は早めに避難を開始

マイ・タイムライン作成手順 2
上の避難行動判定フローの結果をもとに、各警戒レベルが発令された際に自分と家族がどう行動するか記入しておきましょう!

＜警戒レベルとは?＞
災害発生の危険度と、みなさんの取るべき行動を直感的に理解するための情報です。
なお、令和3年より避難勧告は廃止されました。これからは警戒レベル3又は警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難しましょう!

行動を促す情報（避難情報等）

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	市役所からの情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保
＜警戒レベル4までに必ず避難!＞			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報

※市が発令する「高齢者等避難」「避難指示」は、市が総合的に判断して発令するものであることから、警戒レベルに相当する防災気象情報が出されたとしても発令されないことがあります。

雨の情報や河川水位の情報（警戒レベル相当情報）

警戒レベル相当	防災気象情報（警戒レベル相当情報）：浸水の情報（河川）	防災気象情報（警戒レベル相当情報）：土砂災害の情報（雨）
5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報（土砂災害）
4相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2相当	氾濫注意情報	——
1相当	——	——

マイ・タイムライン作成手順 3
いつ、なにをする? 自分たちの行動や準備することを記入しましょう!
気象庁などから出る 雨の情報や河川水位の情報 を参考に、自主的に早めの避難を!

■わたしのすること　※逃げ遅れた場合の命を守るための行動を記入しましょう

＜警戒レベル4までに必ず避難!＞

■わたしのすること　例　○○へ避難する

■わたしのすること　例　近所の○○さんに声をかける、家族に連絡先を伝える

■わたしのすること　例　自宅周辺の災害リスクの確認・非常用持出品の確認

避難の心得

1）避難する前にすること

・ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る。
・事前に決めた避難経路が安全か確認しておく。
・荷物は最低限にし、近所の人に行き先を伝える。
・家族が不在の時には、連絡先などのメモを残し、戸締りをして家を出る。

2）正確な情報収集と早めの避難

・テレビやラジオ、インターネット等で最新の気象情報、避難情報を入手。
・危険を感じたら、自主的に避難を開始する。

3）近所で声をかけて、みんなで逃げる

・普段から、近隣と避難方法の相談をしておく。
・災害時には地域で協力し、自力で避難できない人（高齢者、障がい者、乳幼児や妊婦、外国人）の避難を支援する。
・避難時には近所に声をかけて、みんなで逃げる。

4）避難時には足元や水深に注意

・避難時には服装にも配慮する。※❺ページ「避難時は服装にも配慮しましょう!」
・水面下には、ふたの外れたマンホールや側溝など、危険な場所があるため注意。
・やむを得ず水の中を移動する時は棒などで足元を確認する。
・くるぶし程度の水でも、流れが激しい場合は歩行せず高いところで救援を待つ。

避難できる水深のめやすは、ひざくらいまでだよ!
それ以上になると大人でも歩くのが困難になるよ。くるぶし程度の水でも流れが激しい場合は歩行せず、高いところで救援を待ってね!

5）避難に車はできるだけ使わない

・水深30㎝以上で車は走行できなくなり、50㎝以上で 車が浮いたり水圧でドアが開かなくなる。（緊急時に備えて車内にハンマーを用意しておきましょう。）
・多くの人が車で避難すると渋滞し、緊急車両が通れなくなる。
・立体交差（アンダーパス）などが浸水していると、立ち往生して脱出できなくなる。

6）避難が遅れた場合の緊急対応

・夜間で視界が確保できない場合や、水の流れが激しいときは無理に動かない。
・近くの丈夫な建物や、がけや沢から離れた自宅の上階などへ移動する等、命を守る行動を心がけましょう。